

平成 26 年度、当会は「愛媛未来づくり協働提案事業」にチャレンジしました。この事業は、愛媛県が「県政の課題の効果的な解決を図り、多様化が進む県民のニーズに対応した、きめ細かなサービスを提供するとともに、企業とNPOとの連携・協力を促進して、NPOの持続可能な活動に向けた仕組みづくりを進めることにより、県民主体の地域社会づくりに貢献する」というものです。NPO・企業・県を含む三者以上の多様な主体が連携して実施する協働事業を企画し、書類提出・公開プレゼンと審査を経て、毎年 2 事業程度が選ばれます。

プレゼン当日、会場には、まちおこしに取り組んでいる各地の団体や青少年健全育成活動に取り組むNPOグループの代表など、そうそうたる顔ぶれが並んでいました。審査員席には学識経験者が並び、会場全体が緊張感でいっぱいでした。そんな厳しい競争率のなか、ありがたいことに当会が提案した事業が採択されたのです！



8月27日 プレゼンテーション

企画・提案したのは「『殺処分ゼロ』を目指す地域づくり事業」。「動物愛護」を中心にすえた事業はこれまでに例がなく、行政のみなさんも「採択は難しいだろう」となかばあきらめていたそうです。しかしながら、会報で何度もうったえてきたとおり、愛媛県の年間犬猫殺処分数が 5,000 頭以上にのぼり、全国ワースト 8 位という不名誉な状態であることや「環境省が殺処分減少に向けた取り組みを始めた」という流れが後押しとなったのか、「砥部町をモデル地区とし『殺処分ゼロ』を目指す地域づくりを行う」という企画に、県の人的・経済的支援が投入されることになりました。

採択通知を受け、すぐに県と砥部町と協議に入りました。一日でも早く事業に着手し、殺処分となる犬猫を救い出したい気持ちでいっぱいだったからです。実際に、採択通知受理から二

週間後には、事前協議を済ませ契約書類等も完成させ、事業を開始できました。

この事業の柱は、「行政窓口での引き取り（保護）数の減少」と「飼い主のいない犬猫の譲渡数増加」です。

そのために

①動物愛護と適正飼養の啓発

②町で犬猫の放棄や拾得があった場合の対応・連携マニュアル策定 に取り組むことにしました。

①については、砥部町の住民のみなさんに、パネル展や回覧板を活用して「動物愛護・適正飼養」を呼びかけました。パネル展は、3月の一週間、砥部町役場玄関ホールにて行い、多くの来庁者に掲示を見てもらいました。



砥部町役場にてパネル展

チラシは回覧板を活用することで、町内約 7,900 戸に目を通してもらうことができます。またとない機会ですから、不妊去勢手術の必要性や犬猫の遺棄が法に反するという事実をしっかりと認識してもらえるよう工夫して作成しました。



町内全戸に配布したチラシ

②については、行政窓口でのやむを得ない引き取りや拾得の際、従来であれば一定期間を置いて県の愛護センターに送られてしまっていたのを、町と愛護センター、当会の間で情報を迅